

【JUDO フェスティバル in HOKURIKU】実施報告書

開催日時	2023年11月25日(土) 13:00 ~ 15:00
開催場所	石川県立武道館 柔道場
参加人数	96名

2023年11月25日(土)、石川県立武道館において【JUDO フェスティバル in HOKURIKU】を開催いたしましたので、ご報告させていただきます。

1. 開催の目的

今回の企画の目的は3つです。①「柔道を離れた女性が再び柔道に携わることのできる環境づくり」、②「柔道をしている女子が今後も長く柔道に関わりたいと思える環境づくり」、③「北陸3県の女性がつながる環境づくり」の3点です。

柔道経験のある女性が柔道衣を着て練習する場やふれあう機会は非常に少ないのが現状です。柔道衣を着る機会がなかった女性もイベントを通して柔道衣に袖を通すことで、柔道の良さを再発見したり、子どもと柔道をするきっかけになるのではないかと思います、企画しました。また、他県との交流の中で久しぶりに再会する仲間や新しい仲間との出会いが今後の女子柔道を支えることを期待しています。

2. イベントの内容

今回は、3県混合のチーム戦形式でゲームを行いました。

① 自己紹介

柔道じゃんけんを行い、受け身や技を思い出すとともに、仲間との交流を図りました。年代関係なく行えるゲームだったため気軽に挨拶を交わし積極的に取り組むことができました。チームごとに分かれて自己紹介も行いました。緊張しながらも柔道に対する思いを一人一人が口にしていました。



② しっぽとり

チーム対抗でしっぽとりを行いました。それぞれのチームが円陣を組んだり応援したりしながら盛り上がっていました。



③ 綱引き

大人と子どもが協力して綱引きを行いました。最初から綱を持つわけではなく、少し離れたところから走って(ビーチフラッグ形式で)綱を捕りに行くというルールで行いました。



④ リレー

リレーでは、ただ走るだけではなく、ケンケンや転がる動作を取り入れながら勝負しました。各チームが団結して本気で取り組んでいる姿が印象的です。



⑤ 柔道タイム

乱取りのスペース、打ち込みのスペース、幼児の遊びスペースを用意して各コーナーで取り組みました。乱取りは久しぶりに行う方や強い選手と組んでみたい!という方もいて緊張しながらも楽しむことができました。私自身も普段組み合えない人とも組むことができて充実した時間を過ごすことができました。



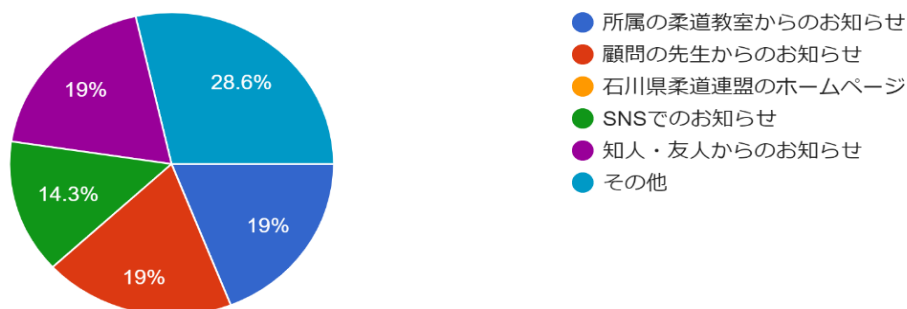
3. 参加者とスタッフについて

今回は県柔連の公式 SNS と県柔道連盟のホームページ、全柔連登録システムの配信機能を用いて、イベントの告知を行いました。参加者は大人35名、中高生10名、小学生19名、幼児16名の参加がありました。柔道経験者が15名、初心者が11名でした。県外出身の方で結婚を機に石川県へ来たお母さん方の参加もありました。

スタッフは16名でした。保育士にも参加していただき託児を行ってもらいました。富山県2名、福井県2名、石川県12名のスタッフを集めました。

4. 参加者からの事後アンケート

『今回のイベントに参加したきっかけ』



『自由記述』

- ・子供達終始楽しい時間過ごさせていただきました。女子だけのフェスとても良かったです!!ポスター等のデザインも目を惹きつけるもので素敵でした!プリントしたバック大切に使います!ありがとうございました
- ・楽しく充実した時間時間を過ごさせていただきありがとうございました。今後益々活動がひろがっていくのが楽しみです。
- ・いろんな世代の柔道家と関わることが出来て楽しかったです。
- ・久しぶりに楽しく身体を動かして、いい時間でした。
- ・運営をされた先生方お疲れ様でした。初めて参加をさせていただきましたがとても楽しかったです。また、子どもも一緒に参加ができとても楽しそうでした。本当にありがとうございました。
- ・スタッフや参加者のみなさんとても感じが良く楽しめました。女子だけなので、乱取りが楽しかった
- ・女子の柔道に携わっている方々の笑顔がとてもステキで、大人から学生、幼児の子たちまで、みんな楽しく交流ができ、柔道を楽しむことができるよい機会をいただきました。お土産(景品)などもたくさん頂き、誠にありがとうございました。またこのようなイベントが開催されることがあれば、また参加させていただきたいです。
- ・とても良かったと思います。女子柔道がもっと人口が増えたら良いと思っているので、来年も参加して盛り上げていけたら良いなと思いました
- ・とっても楽しかった。小さい子どもでもたくさん競技に出してもらえたので嬉しかった。また開催してほしいです。
- ・とても楽しい柔道教室でした!そして、沢山の参加賞もいただけて満足でした!沢山の皆さん、お子さんたちとお話しが出来ました!沢山過ぎて名前が忘れてしまうので(笑)出来たら柔道着を持って無いお母さんや逆に柔道着にガムテープ?名前書いて貼る?とか首にお名前プレートを付けるとか分かりやすいのかな?と思いました。沢山の準備していただき本当にありがとうございました!また楽しみにします♪
- ・楽しく参加させていただきました!久しぶりに柔道着を着て動いてまた柔道したいなあって気持ちになりました!ありがとうございました。
- ・幼児を預ける方は荷物のカバンに名前があったら良かったと思います
- ・普段あまり関わらない人たちと沢山話したり遊べたりしたので良かったです。

・スタッフ皆様のお心配り、笑顔、進行、豪華なお土産、全てが素晴らしく感謝の気持ちでいっぱいです。自己紹介では県外出身者が多い事を知りました。イベントを通じて嬉しい再会や新たな繋がり、交流する事ができ幸せです。ありがとうございました。しばらくは家事も育児も頑張れそうです！

5. イベントを終えて

イベントの開催に向けてポスターで情報を発信することを試みました。そのために、ポスターを公募し、石川県柔道連盟普及振興委員会で決定しました。高校から柔道部に入った生徒が作成したポスターに決定し、各県の柔道教室や学校にポスターを掲示してもらいました。ポスターのデザインを利用して参加賞のエコバックも作成し、当日の参加賞として配布させていただきました。イベント当日だけでなくポスターの作成からイベントの告知を行ったため、各県への周知ができていたように感じます。選ばれた高校生も大変喜び、これからも柔道を続けてくれるきっかけになったと思います。



今回のイベントでは企業による協賛がありました。石川県農業法人協会さんからは、たくさんのお米と野菜を提供いただき、リーベ・マسمトさんにはエコバックの作成や T シャツの提供をしていただきました。参加者の皆さんは参加賞や景品をとっても嬉しそうにしていました。もともと意図したことではありませんでしたが、イベントを企画していく内に柔道以外の企業や団体との関わりや繋がりも大切にしていく必要があるように感じました。



また、道場に足を運んでくれた参加者の中で久しぶりの再会を喜びあっていた場面がとても多かったと感じています。現役時代にライバルだった相手との再会や今何しているのかな?と気になっていた人との思いがけない再会、新しい出会いがありました。中には、他県で同じ時代を過ごした 2 人が 20 数年ぶりなど再開するなどもありました。スタッフ同士での交流も深まり北陸3県でのつながりを作ることができました。

イベントを 1 回行ったからといって目的をすぐに達成することは難しいと思います。継続的に活動を行い、女子柔道の発展に寄与していきたいです。

6. 終わりに

本県においてカムバック女子柔道プロジェクトの実施は今年度で5年目となります。毎年、形を変えながらも女子柔道経験者の活躍できる場をつくることへの思いを大切に繋いでいくことができました。これも全日本柔道連盟さまからの補助があつてのことです。このような貴重な機会を無駄にしないために、石川県柔道連盟として女子柔道、石川県、北陸、北信越の柔道のさらなる活性化に向けて試行錯誤しながら取り組ん

で参ります。一方で、今後は持続可能な形で実施ができるように、補助がなくなっても継続できるように協賛企業などを自分たちで募るなど取り組んでいきたいと思っています。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった全日本柔道連盟さまに感謝申し上げ、実施報告とさせていただきます。

石川県柔道連盟
普及振興委員会
清水 涼子

